

各位

読売新聞東京本社
全国教室ディベート連盟

第22回ディベート甲子園 撮影・取材について

ディベート甲子園では、撮影や取材は以下のとおりとします。関係者のみなさまのご理解ご協力をお願いします。

■撮影の制限

1. 撮影申請

取材・撮影については、原則として事前申込とします。3日間いずれもご来場の際に1階に設置されている「取材受付」にお立ち寄りください。

※事前申込をされていない場合は「取材受付」にお越しいただいた際に、取材目的などによって取材や撮影をお断りする場合があります。

2. 受付手順

当日、会場受付で身分を証明するものを提示して受付してください。

なお、腕章をご持参いただき、撮影中・取材中は目立つところに付けてください。

3. 試合中の撮影について

以下の行為は、試合運営上の妨げや、出場する選手および審判の妨げになりますので、絶対にお控えください。

- (1) フラッシュ撮影、試合中の選手や審判に接近しての撮影
- (2) 試合時間内における、選手のスピーチ・質疑応答の時間の途中での入退室
(準備時間中には入退室いただけます。誘導スタッフの指示に従ってください)
- (3) 選手および審判のスピーチ中に会話や音声を発すること
(特に、機材の移動については、準備時間中をお願いします)
- (4) スピーチする選手と審判の間に割り入っての撮影や、選手の視界に大きく入った位置での撮影

4. 利用について

撮影した画像・動画は、報道に関わる用途以外に、主催者の許可なく営利目的に利用することはできません。

■その他の注意事項

大会本部から機器の確認や撮影内容の提示（デジタルカメラ・ビデオの再生等）を求められた場合は、その指示に従ってください。その他、大会本部の指示に従ってください。

■上記事項が守られない場合の対処

撮影をお断りします。

大会本部の指示に従わない撮影者や不審を抱くような撮影者については、撮影内容の提示を求めるほか、撮影済みのフィルム・テープ・その他の記録媒体等を没収し、警察等の関係機関に、それらの記録媒体等を渡します。

以下の内容をご確認頂き、スムーズな大会運営にご協力をお願い申し上げます。